地域と医療で咲くコミュニケーション

あまが咲だより

2019
3月
No.58

兵庫県立尼崎総合医療センター
Amagasaki General Medical Center (AGMC)

乳房X線撮影装置
Pe･ru･ru DIGITAL
（Canon社製）

［診療科紹介］
乳腺外科

［部門紹介］
薬剤部

［AGMC委員会・部会めぐり］
禁煙対策委員会「毎月22日は「禁煙の日」です。」

- ［AGMCニュース］第1回 伊丹市医師会・AGMC地域医療懇話会を開催いたしました
- セミナーのご案内
- スタッフのつぶやき
- ぶらり～っと病院探訪

乳腺外科

チーム一丸となって乳がんの治療・ケアに取り組み、患者さんの希望に寄り添います

主に乳がんの診断や治療を行っています。地域医療機関からご紹介いただいた方がほとんどですが、乳がん検診施設で精査が必要とされた方の、さらなる検査（造影MRIやエコー・マンモグラフィを使用しての生検）も実施しています。医師以外に看護師・薬剤師・放射線技師・検査技師などたくさんのスタッフが一丸となって、最善・最良の医療を提供するよう日々努力しています。

乳腺外科　科長

諏訪 裕文

- 京都大学臨床教授
- 京都大学医学博士
- 日本乳癌学会　乳腺専門医・指導医・評議員
- 日本外科学会　専門医・指導医
- 日本がん治療認定医機構認定医

構成メンバー

太治智愛、諏訪裕文、岡田有紀、山口あい

特　色

年間の手術件数は約200件で、診療ガイドラインに基づき、根拠のある標準治療をベースに患者さんの希望に寄り添いながら、治療を行っています。早期乳がんでは根治を、転移再発乳がんでは生存期間の延長とQOL（生活の質）の向上を目標としています。治療は手術、放射線、薬物療法を各診療部門と連携しながら、組み合わせて行います。遺伝性乳がんが疑われる場合は、院内の遺伝カウンセリングに紹介し、希望があればBRCA遺伝子検査も可能です（いずれも保険診療外になります）。

患者さんや地域医療機関へのメッセージ

日本人女性の11人に1人が乳がんになる時代です。早期に発見して治療を行うことが大切なため、自覚症状のある場合や検診で精密検査が必要となった場合は、ぜひ受診ください。また、通院中の方は心配なことがあればいつでもご相談ください。

部門紹介

薬剤部

高度化する医療に薬剤師の専門性を発揮し、安心・安全な薬物療法に貢献します

薬剤部ではひとりひとりの患者さんに最適で安心・安全な薬物療法を提供することを目指し、薬剤の調剤・調製や管理・供給、医薬品情報の収集・提供等の業務を行っています。また、全病棟に薬剤師を常駐配置し、薬の効果が十分に発揮されているか、副作用が出ていないか、薬が飲みにくくないか等、薬についての問題点を患者さんと向き合いしっかりと把握して、患者さんと処方する医師との架け橋となるよう日々努めています。

◉スタッフ紹介

各種学会・研修会に積極的に参加し高度専門医療に対応できる薬剤師の育成に努めています。当院薬剤部には、抗菌化学療法認定・救急認定・小児薬物療法認定・外来がん治療認定・緩和薬物療法認定・日本糖尿病療養指導士など多数の有資格者が在籍しており、「存在感のある信頼される薬剤師」を目標に業務を行っています。

◉業務内容

◉患者さんや地域医療機関へのメッセージ

薬剤部では継続的に地域の調剤薬局と合同研修会を開催するなど、連携を保っています。今後とも地域の医師や薬剤師と密接な連携を図り、入院から外来と切れ目のない医療を患者さんに提供できるよう努めていきます。

AGMC 尼崎総合医療センター
Amagasaki General Medical Center

委員会・部会めぐり

－豊かな医療を育むための協議－

適切な運営および安全な医療提供を行うために、
多職種で運営されている院内委員会・部会です。

禁煙対策委員長（呼吸器内科） 嶋田 雅俊

禁煙対策委員会

毎月22日は「禁煙の日」です。
「なぜ22日が？」と思われる方もおられるかも知れませんが、
『２』という文字を水面に浮かぶ白鳥に見立てて、
「スワン、スワン（タバコを吸わん、吸わん）」という訳です。

委員会の紹介・特徴

当委員会は患者さんや家族の方、職員にかかわらず、すべての方に禁煙を勧めております。禁煙外来による指導、敷地内外の禁煙を徹底するための見回り活動を行っております。昨年院内放送の改定を行い、好評をいただいております。禁煙委員会では概ね月に1度、よりよい禁煙活動につき協議しています。

《構成メンバー》

- 診療部医師 4人
- 看護師 5名
- 薬剤師 1名
- 検査技師 1名
- 放射線部 1名
- 総務部 2名

禁煙対策委員会委員

活動内容、取り組み、目標、開催状況など

◉毎週木曜日午後 Aブロック循環器内科外来で、禁煙外来を行っております。（完全予約制）禁煙外来ではニコチン依存症の仕組みだけではなく、生活習慣の見直しについても説明を行っております。

◉月1回禁煙ラウンドを行い、喫煙者に禁煙を勧めるためのPRを兼ねた見回り活動を行っています。

◉年に1回 禁煙の日にあわせて（昨年は10月開催）院内で禁煙について講義や普及活動を行っています。

◉禁煙放送の改定や院内掲示の普及を行っています。

患者さんや地域医療機関へのメッセージ

病気の予防、健康の維持・促進のためにも、適度な運動や栄養バランスのとれた食事の摂取とともに、重要な要素のひとつとして掲げられているのが、禁煙です。「最近は喫煙できる場所が少なくなった。」、「タバコの値段がどんどん高くなっている。」など、禁煙するきっかけは人それぞれだと思います。でも、多くの皆さんが、喫煙が健康に悪影響を与えることを認知されるようになったということが、一番大きいのではないでしょうか。禁煙外来を受診される患者さんからは、「禁煙外来を受診したおかげで禁煙できた。」、「受診する前は全く自信がなかったが、意外に楽に禁煙できた。」と言っていただけることが多く、禁煙達成のお役に立てたことに、私たちもうれしく、やりがいを感じています。私たちは、これからも禁煙活動に積極的に取り組んでまいりますので、興味のある方はぜひ禁煙外来にお越しください。

委員会会議風景

禁煙の日 院内ラウンド

禁煙啓発掲示物

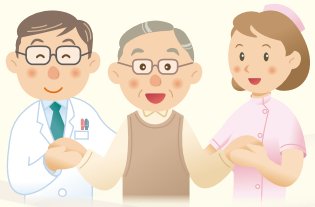
第1回 伊丹市医師会・AGMC地域医療懇話会を開催いたしました

AGMCニュース

▲院長あいさつ

平成31年2月7日(木)、開院以来多くの患者さんをご紹介いただいている伊丹市医師会の先生方との交流を深めることを目的に、第1回 伊丹市医師会・AGMC地域医療懇話会を伊丹シティホテルで開催し多数のご参加をいただきました。

第一部では、当院の地域医療連携部門・救命救急センターの実績報告、当院診療科における新たな取り組みについて、ご紹介させていただきました。医師会の先生方からも熱心な質疑応答をいただくなど、充実した内容となりました。



第二部では、顔の見える連携をモットーに懇親会を開催いたしました。

この懇話会を開催させていただくにあたり、伊丹市医師会長をはじめ事務局の方々の全面的な協力により開会できましたこと、改めて深く感謝申し上げます。今後も円滑な地域医療連携が図れるよう取り組んで参りますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

当院の新たな取り組み報告

❶循環器内科……「外科的治療が困難な重症僧帽弁逆流症に対するMitra Clipの導入」
❷泌尿器科……「ロボット支援手術の適応拡大(前立腺・腎部分切除・膀胱全摘)」
❸脳神経外科……「血栓回収療法の最新動向について」
❹整形外科……「当院における脊椎外科の特徴」
❺耳鼻咽喉科・頭頸部外科…「いびき・難聴から頭頸部がんまで」
❻形成外科……「口唇裂・口蓋裂センターの開設(「小児形成外科」標榜開始)について」
❼小児外科……「胎児腹部嚢胞性病変について　～胆道疾患を中心に～」

▲伊丹市医師会 常岡会長 ご挨拶

▲伊丹市医師会 地域医療担当 小坂理事 ご挨拶

▲懇話会の様子

セミナーのご案内

多くの方のご参加を！

第74回 市民すこやかセミナー

テーマ『認知症予防対策』

【講　師】県立尼崎総合医療センター
●神経内科 医師 影山　恭史
●リハビリテーション科 作業療法士 玉井 寛子

【日　時】平成31年4月18日(木曜日)　午後2時～3時30分(開場1時30分～)
【場　所】県立尼崎総合医療センター 講堂(1階) **定員:120名(参加費無料・予約不要)**

★会場の防災管理上、定員になり次第入場を制限させていただきます。
★お問い合わせ：県立尼崎総合医療センター　地域医療連携センター ☎ 06-6480-7000(代表)

スタッフのつぶやき

“金属と時間が最大の敵です”

放射線部 MRI室

MRIは、放射線を使わず磁石を使った画像検査です。そのため検査室内には磁場が発生しており、金属を持ち込むのは非常に危険です。検査前には更衣をお願いし、体内も含めて金属・機械のチェックをさせていただきます。それでも金属類の外し忘れや、医療器具等を持ち込みそうになることがあり、ヒヤヒヤします。また、1回の検査時間が長く、1日にできる検査の数には限りがありますが、緊急検査が多いため、時間内に効率よく行うことが要求されます。時には休憩時間を削り、1分1秒を惜しみながら良い画像が提供できるよう努力しています。MRIは被ばくもなく詳しい情報が得られる素晴らしい検査ですが、従事する職員は金属と時間を相手に日々戦っています。

ぶらり～っと病院探訪

利便性を重視し、よりスムーズな外来受診に向けて

2階 外来エリア

▲スムーズな受診をサポートするスタッフ

▲再来受付機

◀自動支払機

▲呼び出し受信機

当院の1階から2階に位置する外来エリア。毎日、多くの患者さんが外来の受診に訪れ、時間を問わず人の往来が盛んです。当院の外来患数は1日当たり約1,900人。年換算すると約45万人もの患者さんにご来院いただいております。病院としては有難い気持ちでいっぱいですが、一方で受診までの待ち時間が長くなっていないか？と疑問に思い、病院の「待ち時間対策」について調査しました。「待ち時間対策」1つ目は、「呼び出し受信機」の導入です。受付から診察、診療費のお支払いまで個別にお配りする呼び出し受信機によりご案内いたします。院内であれば、どこにいても案内ができますので、カフェでくつろぎながらお待ちいただけます。2つ目と3つ目は、「再来受付機」と「自動支払機」です。混雑しがちな再診受付と診療費のお支払いを自動化し、よりスムーズに手続きいただけます。その他にも待ち時間にお読みいただける「図書コーナー」やお子さん向けの「プレイコーナー」など、待ち時間を少しでも短く・有意義にしていただけるよう様々な取組みをしていることがわかりました。

今月の表紙写真

乳房X線撮影装置 Pe・ru・ru DIGITAL（Canon社製）の紹介

本装置は、フラットパネルディテクタ（FPD）を搭載したフルデジタルマンモグラフィ装置です。

マンモグラフィは、乳がんをはじめとしたいろいろな病気を見つけることができます。特に「石灰化」と呼ばれるしこりとして触れることのできないごく早期の乳がんのサインの発見に優れています。また、マンモグラフィのみで描出された微小な石灰化などの病変に対しては、ステレオガイド下で正確に生検を行うこともできます。

当センターは、NPO法人日本乳がん検診精度管理中央機構よりマンモグラフィ検診施設画像認定施設として認定されています。

編集後記

寒い寒いと思っていたのに、はやいものでもう桜の季節ですね。同時に年度末でもあり、まとめや振り返りをすることで、次年度の目標を考える時期でもあります。また、卒業や異動で別れの季節でもあります。しかし別れは次の始まりです。まもなくやってくる新人さんを迎えるために、いままで漠然としてきたことを見直すなど、いろいろ準備をしたいと思います。

（K.Y.）

兵庫県立尼崎総合医療センター
Hyogo Prefectural Amagasaki General Medical Center (Hyogo AGMC)
〒660-8550 兵庫県尼崎市東難波町二丁目17番77号　TEL 06-6480-7000（病院代表）　FAX 06-6480-7001
URL：http://agmc.hyogo.jp/
兵庫県立尼崎総合医療センター　検索

発行　兵庫県立尼崎総合医療センター　企画協力・デザイン・印刷　兵田印刷工芸株式会社